

伊丹市総合交通計画 (中間改定版) 進捗状況の評価

令和4年度第1回総合交通会議進捗管理部会

日時：令和4年10月19日（水）13時30分～

場所：伊丹市総合教育センター 2階 講座室

都市交通部交通政策室交通政策課

基本目標 1 快適な移動を支える都市環境の整備

1. 実施施策

令和3年度の進捗状況が【予定を上回る】の施策

- ◆警察による指導強化[5]

令和3年度の進捗状況が【予定通り】の施策

- ◆自転車通行空間の整備[1]
- ◆自転車駐車場の計画的な保全[2]
- ◆自転車安全利用に関する啓発[3]
- ◆自転車安全利用啓発指導員による啓発・指導[4]
- ◆自転車保険の加入推奨[6]
- ◆歩行者通行空間の整備[7]
- ◆無電柱化の推進[8]
- ◆街路樹の適正な管理[9]
- ◆安全・安心見守りネットワーク事業の推進[11]
- ◆通学路・生活道路の安全対策[12]
- ◆都市計画道路の整備[13]
- ◆渋滞交差点の解消・緩和[14]
- ◆橋梁等の計画的な保全[15]
- ◆名神湾岸連絡線等の整備推進[16]
- ◆環境負荷の少ない道路整備の推進[18]
- ◆自転車通勤の促進[20]
- ◆被災時の輸送路確保[17]
- ◆スマートムーブの推進[19]
- ◆グリーン経営の促進[21]

令和3年度の進捗状況が【予定を下回る】の施策

- ◆歩行者ネットワークの強化[10]

2. 評価指標 「◎」 予定を上回る 「○」 予定通り 「△」 予定を下回る

評価指標		H31/R1 (現状)	R 3	R 6	令和3年度 評価状況
自転車レーン等整備区間 延長 (km)	目標	—	9.0	12.2	—
	実績	7.8	9.0	—	○
市営自転車駐車場利用台 数 (台/日)	目標	—	6,064	6,865	—
	実績	6,865	5,999	—	○
交通安全教室の参加者数 (人/年)	目標	—	6,300	6,450	—
	実績	6,258	2,995	—	△
自転車関連事故件数 (件/年)	目標	—	396	337	—
	実績	420	238	—	◎
人口1万人当たりの自転 車関連事故件数 (件/年)	目標	—	20	17	—
	実績	21	12	—	◎
歩道(街路樹)再整備延 長 (km)	目標	—	0.6	2.4	—
	実績	0	0.4	—	○
都市計画道路整備率 (%)	目標	—	88.7	89.1	—
	実績	88.1	88.6	—	○
大気汚染に関する環境基 準達成率(二酸化窒素N O2) (%)	目標	—	100	100	—
	実績	100	100	—	○

基本目標 1 快適な移動を支える都市環境の整備

3.主な実施施策

【自転車ハザードマップの作成】

市内のどんなところで事故が起こっているのか、通行時に気をつけるポイントなどを示した、小学校区別の自転車ハザードマップを作成し、市のHPで公開しています。

また、広報伊丹7月1日号においても、伊丹市内の自転車ハザードマップを掲載した、「自転車安全利用特集号」の挟み込みを行いました。



【オリジナル動画

「ITAMI BYCYCLE MANUAL」の作成】

正しいルールを身につけ実践することで、交通事故を起こしたり、事故に巻き込まれたりする危険を減らすため、伊丹市ではオリジナル動画「ITAMI BICYCLE MANUAL (通称 イタバイマニュアル)」を作成しました。第1弾となる「自転車レーンの走行」は、市内で実際に撮影された動画になり、自転車を運転するときの参考に利用していただいています。第2弾となる「歩道の通行」では、歩道を通行できる場合、注意すべき点などを解説しています。



Vol.1 自転車レーンの走行

あなたは全ての危険から身を守ることができるか？



配信動画は QR コードから



Vol.2 歩道の通行

自転車でいつも通るあの歩道 通っていい場所？悪い場所？



配信動画は QR コードから

「Vol.1 自転車レーンの走行」とあわせてご覧ください

基本目標 1 快適な移動を支える都市環境の整備

3. 主な実施施策

【新伊丹駅北側の踏切道内に誘導表示（点字シート）を設置】

【 施工前 】



【 施工後 】



【 航空写真（施工前） 】



今年4月、奈良県大和郡山市の近鉄橿原線の踏切で目の不自由な方と列車が接触して亡くなる痛ましい事故が発生しました。「道路の移動等円滑化に関するガイドライン」が6月に改定され、その対策事例が盛り込まれました。

その改定を受け、伊丹市は阪急電鉄と協議し、新伊丹駅北側に位置する踏切道（新伊丹）に点字シートを設置しました。

当該箇所はコンクリート舗装の踏切で、幅45cmのエスコートゾーン用点字シートを用いております。

4. 計画の進捗に対する評価

ソフト対策については、概ね積極的に実施しており、今後も継続した実施が望まれます。特に「自転車安全利用に関する啓発」においては、オリジナル啓発動画や小学校区単位で自転車事故の発生場所を示した「自転車ハザードマップ」などを作成し、よりわかりやすく解説することで、意識の向上を図っています。

ハード対策についても、概ね順調に整備が進んでいます。令和4年度には、「歩行者通行区間の整備」として、兵庫県内初となる踏切内点字ブロックの設置（阪急新伊丹駅）を実施し、より安全な歩行者空間の整備を推進しています。

また、新型コロナウイルス感染症を想定した「新しい生活様式」により、自転車需要が高まっている反面、自転車駐車場の利用者数をみると、新型コロナウイルス感染症による在宅ワークの推進や外出自粛が影響し、コロナ禍前に比べ、大きく減少しています。自転車関連の施策については、新型コロナウイルス感染症が大きく影響することが想定されるため、今後も動向に注視しながら、施策の推進に向け、新たな手法の模索も必要と考えます。

基本目標2 交流を支える公共交通の充実

1.実施施策

令和3年度の進捗状況が【予定を上回る】の施策

- ◆バス位置情報提供サービスの研究[29]
- ◆高齢者等への市営バス特別乗車証等の交付[33]

令和3年度の進捗状況が【予定通り】の施策

- ◆わかりやすい乗換案内の推進[22]
- ◆駅構内での安全性の確保[23]
- ◆バス停留所の整備[24]
- ◆バス停留所隣接の自転車駐車場整備の検討[25]
- ◆需要に応じた路線および運行ダイヤの研究[27]
- ◆新たな都市間交通の研究[28]
- ◆自動運転技術活用の研究[30]
- ◆公共交通や商業事業者、イベント等と連携した公共交通の利用促進[32]
- ◆市営バスオリジナルグッズの製作・販売[34]
- ◆市営バス事業の経営基盤の強化[35]
- ◆阪神都市圏公共交通利用促進協議会との連携[36]
- ◆兵庫県地域公共交通MaaS推進協議会との連携[37]
- ◆高齢者、障がい者の外出支援[38]
- ◆高齢者等の移動手段の研究[39]
- ◆新しい移動手段の研究[40]

令和3年度の進捗状況が【予定を下回る】の施策

- ◆空港へのアクセス確保[26]
- ◆公共交通利用に関する啓発[31]

2.評価指標 「◎」予定を上回る 「○」予定通り 「△」予定を下回る

評価指標		H31/R1 (現状)	R 3	R 6	令和3年度 評価状況
市営バス利用者数 (万人/年)	目標	—	1,527	1,527	—
	実績	1,527	1,191	—	△
鉄道乗降客数 (人/日)	目標	—	72,240	103,200	—
	実績	103,200	87,087	—	◎
交通局営業収支率 (%)	目標	—	90	90	—
	実績	90	76	—	△

基本目標2 交流を支える公共交通の充実

3.主な実施施策

【市バス混雑情報提供システム（いたみバスナビ）】



バス車内の混雑状況や接近情報をお知らせする、市バス混雑情報提供システム（いたみバスナビ）を導入しました。
スマートフォンやパソコンで、ご利用前に、混雑状況や運行状況、経路案内をご確認いただくことで、より便利で快適にご利用いただけるようになりました。

【新バス路線の運行 ～ J R伊丹駅⇔阪急曽根駅⇔緑地公園駅～】



J R伊丹駅・阪急曽根駅・緑地公園駅を結ぶ「阪急バス 豊中東西線」が令和3年4月1日に開通しました。

4.計画の進捗に対する評価

ほとんどの施策において、着実に施策が進められています。特に、いたみバスナビの導入による位置情報の提供や新バス路線の運行により、公共交通の利便性は向上したものと考えます。
「空港へのアクセス確保」のように、新型コロナウイルス感染症が大きく影響している施策が複数あり、今後も新型コロナウイルス感染症の動向に注視しながら、施策の推進に向け、新たな手法の模索も必要と考えます。
また、アフターコロナにおける公共交通のあり方についても、今後、検討が必要になってくると考えます。

基本目標3 地域資源と市民力を活用した交通まちづくり

1.実施施策

令和3年度の進捗状況が【予定通り】の施策

- ◆わかりやすい乗換案内の推進[再掲22]
- ◆空港の利便性の向上[41]
- ◆無電柱化の推進[再掲8]
- ◆駐車場の計画的な保全[43]
- ◆公共交通や商業事業者、イベント等と連携した公共交通の利用促進[再掲32]
- ◆新しい移動手段の研究[再掲40]
- ◆自転車駐車場の計画的な保全[再掲2]
- ◆自転車駐車場の利用促進[44]
- ◆放置自転車等の啓発・指導[45]
- ◆放置自転車等の撤去強化[46]
- ◆高齢者運転免許自主返納の周知・推進[48]
- ◆自転車安全利用啓発指導員による啓発・指導[再掲4]
- ◆利用者の声を反映した市営バスの運営[49]
- ◆交通政策に対する意見聴取[50]

令和3年度の進捗状況が【予定を下回る】の施策

- ◆空港へのアクセス確保[再掲26]
- ◆空港利用者の誘導[42]

令和3年度の進捗状況が【未着手】の施策

- ◆民間事業者との連携による交通安全啓発[47]

2.評価指標 「◎」予定を上回る 「○」予定通り 「△」予定を下回る

評価指標		H31/R1 (現状)	R 3	R 6	令和3年度 評価状況
空港線バス乗降客数 (千人/年)	目標	—	226	396	—
	実績	566	278	—	◎
中心市街地の自転車・歩行者の休日通行料(人/10h、1調査地点当たりの平均)	目標	—	6,590	8,330	—
	実績	8,238	7,050	—	○
観光入込客数(千人/年)	目標	—	3,100	3,100	—
	実績	2,738	1,931	—	△
放置自転車等台数(台/日) ※調査日における台数	目標	—	120	117	—
	実績	120	58	—	◎
人口1万人当たりの交通事故発生件数(件/年)	目標	—	49	46	—
	実績	50	34	—	◎
高齢者交通事故発生件数(件/年)	目標	—	310	280	—
	実績	328	209	—	◎

基本目標3 地域資源と市民力を活用した交通まちづくり

3.主な実施施策

【空港線バスのりば案内表示の新設】



空港線のバスのりばの案内表示を人目につきやすい支柱（JR伊丹駅西側入口階段にある支柱）に新設しました。



【宮ノ前地下駐車場案内表示の更新】



伊丹宮ノ前地下駐車場内に掲示されている場内案内図を更新しました。地上周辺案内図と地下駐車場内の案内図をリンクして記載し、ゾーンごとに色分けすることでより分かりやすい案内図にしました。また、各出入口ごとに地上のどこへ出るのかが分かるような案内表示も新たに設置しました。

4.計画の進捗に対する評価

ほとんどの施策において、着実に施策が進められています。ハード対策である駐車場や自転車駐車場の保全については、計画的な修繕に加え、利用者にわかりやすい案内表示を作成することで、利便性の向上が図れたと考えます。「空港利用者の誘導」や「民間事業者との連携による交通安全啓発」のように、新型コロナウイルス感染症が大きく影響している施策については、今後も新型コロナウイルス感染症の動向に注視しながら、施策の推進に向け、新たな手法の模索も必要と考えます。